

| No. | 書名 | 刊行年月 | 頒布価格 | 内容 |
|-----|------------------------|------------------------|--------|---|
| 1 | 川越市史第1巻 原始古代編 | 1972年3月 1979年3月第2刷 | 品切れ | 叙述編と資料編を合わせて1冊としたもの。叙述編は原始から平安までの時代を扱い、資料編は石器時代から古墳時代末期までの諸遺跡について収録。589頁。 |
| 2 | 川越市史第2巻 中世編 | 1985年3月 | 4,600円 | 大化改新前後から後北条氏支配の終焉に至るまでの、川越を中心に武蔵及び関東一円まで含めた地域の歴史の変遷を叙述した通史編。武蔵武士、特に河越氏について詳しい。629頁。 |
| 3 | 川越市史第2巻 中世編 別巻板碑 | 1985年3月 | 3,800円 | 板碑一般の解説と川越の板碑を分析した本文編、そして川越市所在板碑約1080基のうち1029基を年代順及び地区別（年代不明分）に収録した図録編から成る。502頁。 |
| 4 | 川越市史第3巻 近世編 | 1983年12月 | 4,300円 | 川越市域の近世の歴史を通史的に叙述したもの。家康の関東入国と徳川譜代の家臣酒井重忠の川越入封から記述を始め、廃藩までを政治・経済・社会史的観点から五つの時期に分け、それぞれを一つの章として叙述。587頁。 |
| 5 | 川越市史第4巻 近代編 | 1978年3月 | 3,800円 | 明治維新から第二次世界大戦終了までの川越市（町）の歴史を扱った通史編。政治と経済に主眼を置いて叙述されている。732頁。 |
| 6 | 川越市史第5巻 現代編Ⅰ | 1972年3月 1972年10月第2刷 | 2,000円 | 昭和20年から昭和40年までの川越市の発展を、政治と行政、経済、生活と意識の3つの側面から取り扱った現代史。674頁。 |
| 7 | 川越市史第5巻 現代編Ⅱ | 1981年12月 | 3,200円 | およそ昭和40年から昭和50年に至る川越の現代史。項目によっては昭和20年頃からの記述になっているものもある。現代編Ⅱは現代編Ⅰとの相関において読まれる事を想定して執筆されている。401頁。 |
| 8 | 川越市史史料編 中世Ⅰ | 1975年3月 | 4,000円 | 現川越市のみ限定せず、歴史上の川越及び入間・比企地方に関係ある史料を収録。年代範囲は、1155年（久寿2）8月河越氏祖と称せられる重隆の比企郡大蔵館おける敗死より1590年（天正18）7月後北条氏の滅亡に至る430余年間である。南北朝が合体する1392年を境としてⅠ・Ⅱの2分冊にしている。収録した地域にある事象を年代順に掲げ、それに関連する史料を列記。中世Ⅰ、468頁、中世Ⅱ、764頁。 |
| 9 | 川越市史史料編 中世Ⅱ | 1975年3月 | 4,000円 | |

| | | | | |
|----|----------------|-----------------------|--------|---|
| 10 | 川越市史史料編 近世Ⅰ | 1978年10月 | 5,100円 | 寛永期から1869年（明治2）までの史料を収録した藩政史料編。史料は家別を原則とし、これを大名家時代別に配列。871頁。 |
| 11 | 川越市史史料編 近世Ⅱ | 1977年3月 | 5,000円 | 町方史料及び寺社史料を収録した近世史料編。編集当時の所蔵者別に収載し、史料の配列は内容により適宜まとめられており必ずしも年代順配列ではない。925頁。 |
| 12 | 川越市史史料編 近世Ⅲ | 1972年3月 | 品切れ | 村方史料編。巻頭に収録史料に関する解説がある。家別に収載している。686頁。 |
| 13 | 川越市史 民俗編 | 1968年3月 1982年3月第3刷 | 2,500円 | 昭和41年当時に民間伝承を可能な限り採集して編集した。川越地域の年中行事、産育・婚姻・葬送習俗、伝説、方言、芸能（獅子舞・祭りばやし・餅つき踊りなど）、祭りなどについて記述されている。712頁。 |
| 14 | 川越市史写真集 | 1986年2月 | 1,000円 | 川越市史各巻に収載した写真を主に、新たに若干の写真を加え一冊の写真集としたもの。写真の配列は年代順を原則としている。104頁。 |
| 15 | 川越市史年表 | 1986年3月 | 3,600円 | 行田市稲荷山古墳出土の鉄剣銘「辛亥年」（471）から、1975年（昭和50）までの川越市史関連事項の年表である。376頁。 |
| 16 | 川越市史研究 | 1984年3月 | 1,000円 | 「功労者事蹟調書」及び市史「近世編」補遺（旗本領と寺社領／寛保の水害／川越藩の京都警備）を収録。164頁。 |
| 17 | 川越市史研究 第2号 | 1987年3月 | 1,000円 | 〔川越町郷分〕日記、〔野田村〕日記壱番、〔野田村〕貳番日記を収録 151頁。 |
| 18 | 川越市史研究 第3号 | 1988年3月 | 1,000円 | 〔野田村〕三番日記、五番日記、六番日記を収録 127頁。 |
| 19 | 川越市史研究 第4号 | 1993年3月 | 1,200円 | 川越領村高外書抜帳 川越領村郷附手鏡 129頁。 |
| 20 | 川越の石仏 | 1973年3月 1980年3月第2刷 | 2,400円 | 民間信仰の所産として近世以降に造られた川越市内の石仏を調査研究した結果をまとめた。解説、表、写真で構成される。本文203頁、資料写真194頁。 |
| 21 | 朝日之舎日記 | 1979年11月 | 2,500円 | 明治時代初期に川越氷川神社祀官を努めた山田衛居の日記集。「壬申日誌」「朝日家日記」「朝日之舎日記」を掲載。 321頁。 |

| | | | | |
|----|-------------|----------|------------------------------------|--|
| 22 | 川越市合併史稿 | 1966年12月 | 品切れ | 市制施行40周年を記念して開始された市史編纂事業の一環として刊行。川越市の明治初期から昭和30年までの、合併による地域的変容を記述。363頁。 |
| 23 | 芳野村郷土誌稿 | 1971年3月 | 品切れ | 地域の郷土史家の遺稿を市史編纂事業の一環として刊行。実地調査を基調とし、これに古文書、口碑、伝説、古老の談話及び各書籍の資料と識者垂教を収録。309頁。 |
| 24 | 校注武蔵三芳野名勝図会 | 1994年3月 | 3,600円 | 江戸時代後期、中島孝昌が編述した「三芳野名勝図会」のうち、中島家伝来本に詳細な校注を施したものの。185頁。 |
| 25 | 本の中の川越 | 2002年12月 | 600円 | 市制施行80周年記念事業として出版。「伊勢物語」から近年に出版された本まで、川越地域及び川越にまつわる話を掲載。105頁 |
| 26 | 川越市史近世史料目録 | 1980年3月 | 品切れ | 川越市史近世編執筆のため調査した、川越の歴史に関連する主として近世の史料目録。市史執筆者及び編纂室の部内資料という性格のものであるため目録としては不十分である。「藩政史料目録」「寺社史料目録」「町方史料目録」「村方史料目録」「その他目録」に大別し、次いで現所蔵者別に配列されている。137頁。 |
| 27 | 川越の歴史 | 1982年10月 | 刊行時市内全世帯に配布。現在は中央図書館にて残部を希望者へ無償頒布。 | 市制施行60周年記念事業として出版。原始・古代から現代(昭和57年)まで川越の歴史を概説。366頁。 |